



よる あいだ あんぜん 夜の 間も 安全



わたしは、^{つき ほし そら}月と星を空に散らばせた。^{よる}夜には^あ明かりを^とともし、
^{きみ}君たちに^{キラキラ}と^{ひかり}光を^{そそ}ふり注ぐためにね。^{まわ}周りが^{くら}暗くても、
わたしが^{きみ}君の^あ明かりに^ななって^ああげる^てて^こことを、^{つき ほし}月や星たちが^{おも}思い出させてくれるよ。



よる ねむりにつく 前には、すてきな 夢を見て、ぐっすりよく 休めるように、
わたしに 祈り求めなさい。君を守ってあげるからね。わたしはいつも、すぐ そばにいるよ！¹

¹ マタイによる ふくいんしょ 福音書
28:20 さんしやう 参照